

平成25年

6月16日(日)

大阪市主催

文楽デー



日高川入相花王 渡し場の段

演目(午前の部・午後の部とも)

◆公演 「日高川入相花王 渡し場の段」

◆解説 「文楽へようこそ」

◆公演 「絵本太功記 尼ヶ崎の段」

午前の部 午前10時30分開演 (午後1時終演予定)

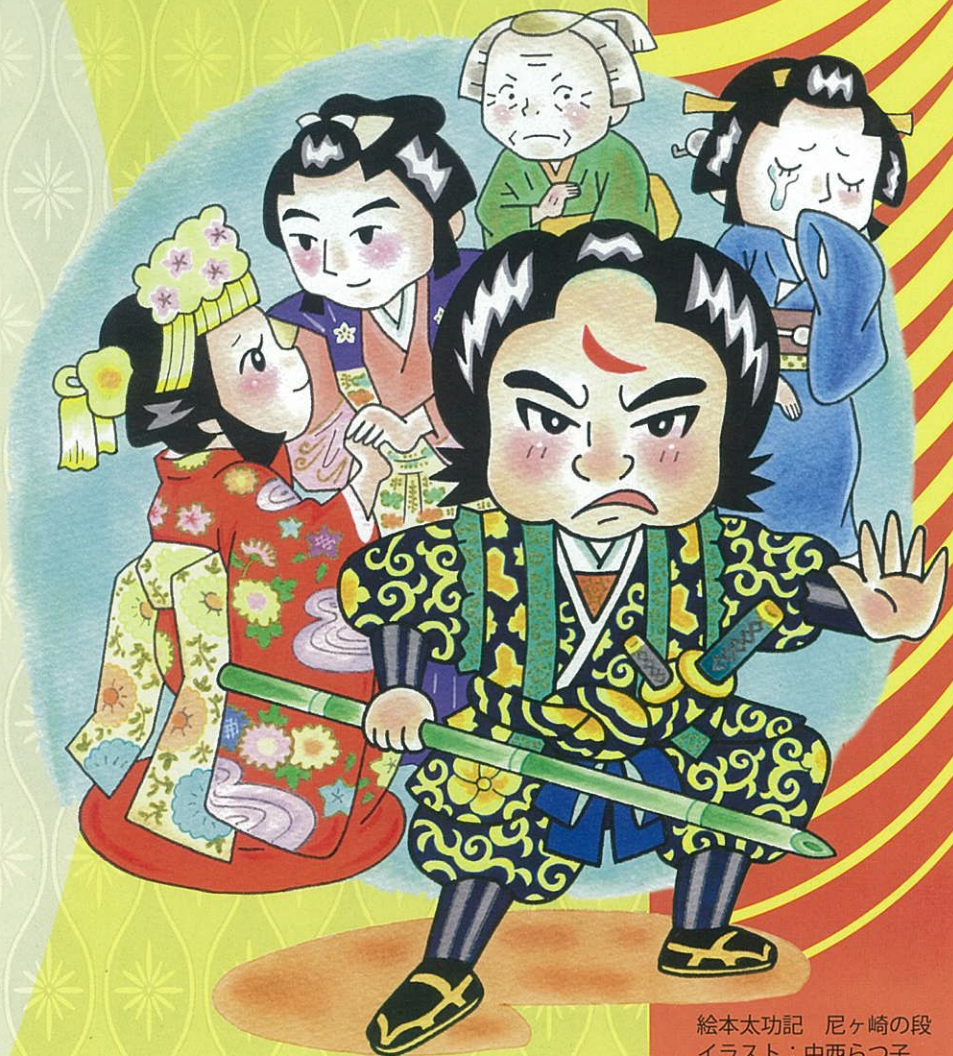
午後の部 午後3時開演 (午後5時30分終演予定)

※午前の部・午後の部とも公演終了後に特別企画イベントがあります。

◆特別企画

「文楽三業(太夫・三味線・人形)の体験コーナー」

(特別企画への参加は、公演チケットをお買い求めの方に限ります)



絵本太功記 尼ヶ崎の段
イラスト：中西らつ子

国立文楽劇場

料金

一般 2,300円
学生 1,300円

(全席指定)

日高川入相花王

皇位継承の争いで身を追われている安珍を匿った際に、その家の娘・清姫が安珍に恋をしてしまいます。その後、清姫は恋い慕う安珍のあとを追いついて、日高川までやってきます。ところが、河に橋は掛かっていません。清姫は船頭に船を出して向こう岸に早く自分を渡らせてほしいと頼むのですが、船頭は「自分(安珍)を追ってくる人(清姫)がいたら、河の向こう岸にその人を渡すな」と安珍に言い含められており、船を出そうとしません。それを聞いた清姫は怒りに打ち震えて形相を変え、安珍の後を追うため河に身を投げ…。

解説「文楽へようこそ」

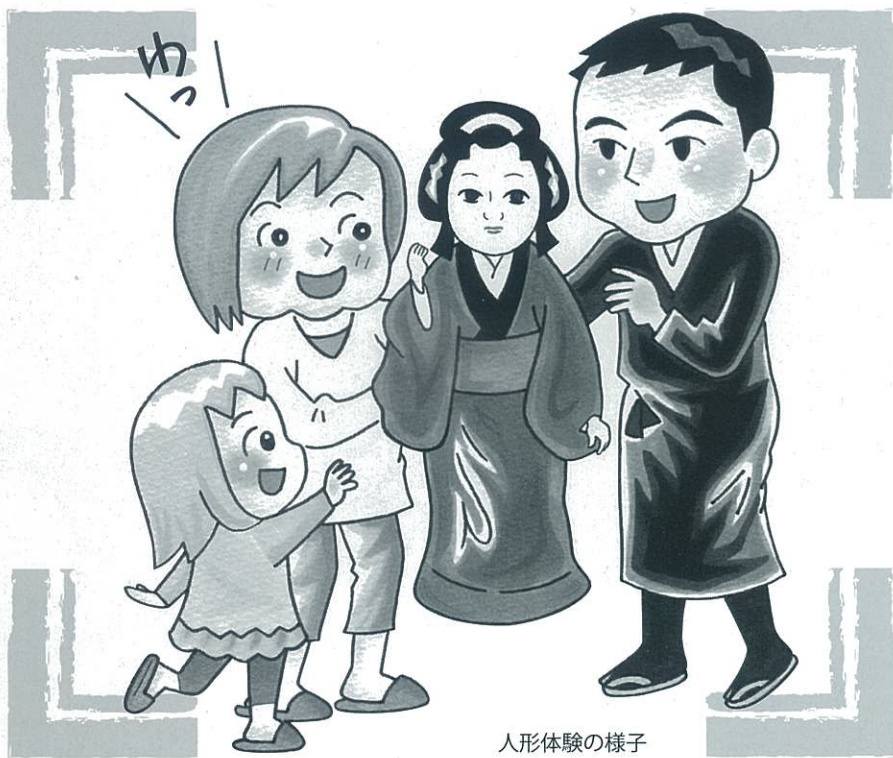
人形浄瑠璃文楽は、太夫・三味線・人形の三業が一体となって織りなす、大阪を代表する伝統芸能です。その三業の技芸員がそれぞれに実演を交えながらわかりやすく解説します。

絵本太功記 尼ヶ崎の段

豊臣秀吉の出世物語を題材にした作品です。主君を討った息子の光秀(史実の明智光秀)を拒んだ母さつきは、尼崎に離れて暮らしています。その家へ光秀の妻、操が息子十次郎の許嫁初菊を伴ってやってきます。十次郎は初陣の許しを得るために祖母に会い、初菊と祝言を挙げて出陣します。前後して一晩の宿を乞う僧が訪ねてきますが、さつきはその僧にお風呂を勧めます。その様子を陰から見ていた光秀は、その僧が敵方久吉(史実の豊臣秀吉)だと見破り、風呂場に向かって竹槍を突き刺します。ところが傷を負ったのはさつきで、主君殺しの罪深さを説くためにわざと光秀の手を掛ったのです。さらには戦に出た十次郎も深手を負って戻ってきて…。

特別企画の内容

公演をご覧いただいた後、文楽三業の体験ができます。肩衣を着けたり、三味線を構えたり、人形を持つたりすることが出来ます。また記念撮影もできます。



人形体験の様子

チケットのお買い求め

電話予約

●国立劇場チケットセンター

①0570-07-9900 (PHS・IP電話 ①03-3230-3000)

【5/3より取扱い開始】 (10:00~18:00)

●ローソンチケット

①0570-000-777 (Lコード53831)

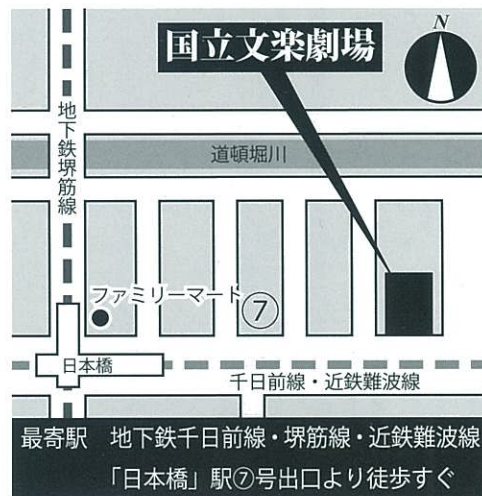
【5/4より取扱い開始】 (10:00~20:00)

窓口発売 【5/4 (土・祝) 販売開始】

●国立文楽劇場1階入場券窓口 (10:00~18:00)

●ローソンチケット (Lコード53831)

【ローソン店内のLoppi端末よりお買い求めいただけます】



□主催 大阪市
□企画 公益財団法人文楽協会